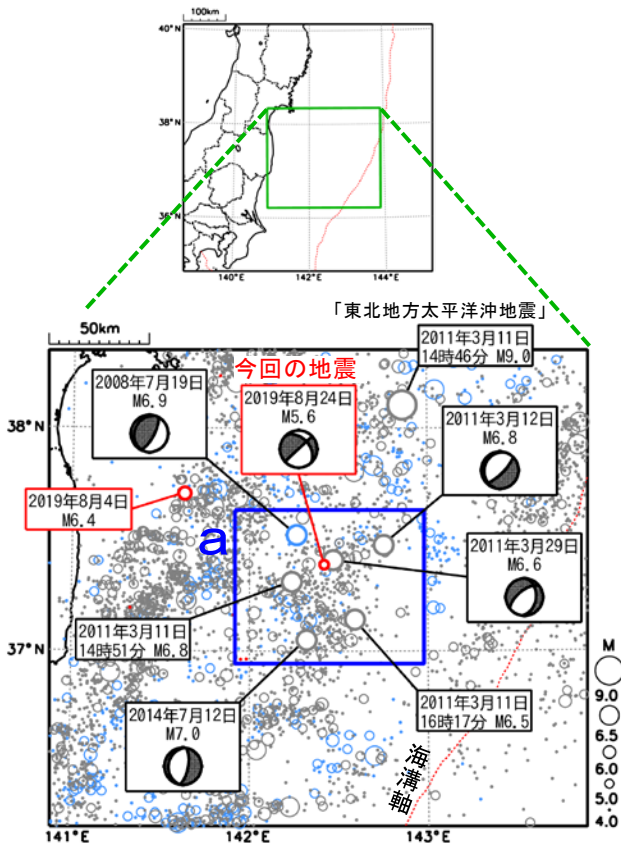


8 月 24 日 福島県沖の地震

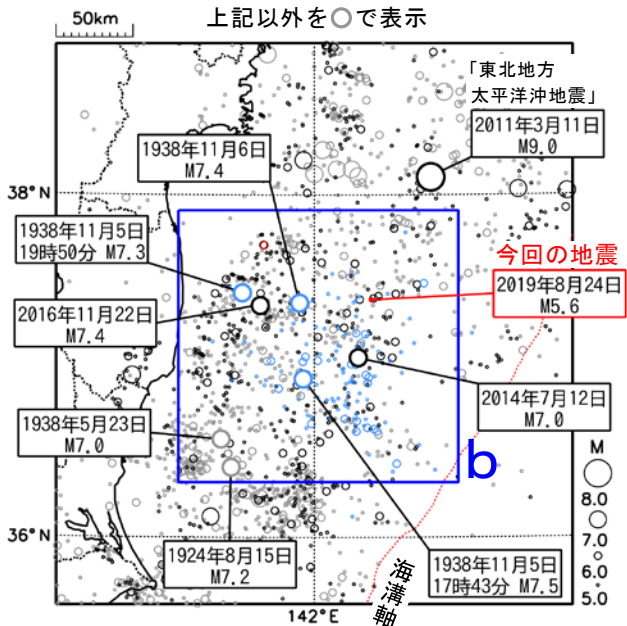
震央分布図

(1997年10月1日～2019年8月31日、
深さ 0～100km、 $M \geq 4.0$)
2011年3月10日以前の地震を○、
2011年3月11日以降の地震を○、
2019年8月の地震を●で表示
図中の発震機構は CMT 解



震央分布図

(1922年1月1日～2019年8月31日、
深さ 0～150km、 $M \geq 5.0$)
1938年11月5日～11月30日の地震を○、
2011年3月11日以降の地震を○、
2019年8月の地震を●、
上記以外を○で表示

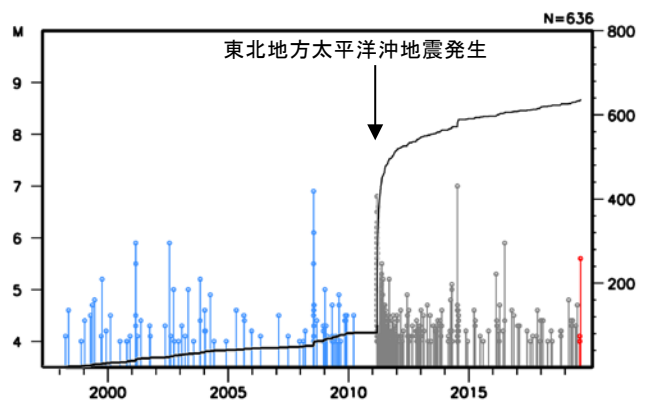


2019年8月24日13時52分に福島県沖でM5.6の地震（最大震度3）が発生した。発震機構（CMT解）は西北西－東南東方向に張力軸を持つ型である。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近（領域a）では、「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」の発生以降、地震活動が活発化し、M6.5以上の地震が5回発生している。

1922年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、1938年11月5日17時43分にM7.5の地震（最大震度5）が発生した。この地震により、宮城県花淵で113cm（全振幅）の津波を観測した。この地震の後、福島県沖で地震活動が活発となり、同年11月30日までにM6.0以上の地震が26回発生し、このうち7回は津波を観測した。これらの地震により、死者1人、負傷者9人、住家全壊4棟、半壊29棟などの被害が生じた（「日本被害地震総覧」による）。

領域 a 内の M-T 図及び回数積算図



領域 b 内の M-T 図

